



THE MUSIC

OWNER'S MANUAL

この度は、Vienna Acoustics のスピーカーシステムをご購入頂きまして誠に有難うございます。
このスピーカーの性能をフルに発揮させるため、この取扱説明書を注意深く読み、セットアップの方法をご活用下さい。最も重要なことは、音楽を聴くこと、楽しむことです。
お客様のリスニング環境はそれぞれ異なり、わずかな調整で大きく変わることがございます。
この音楽性豊かなこのスピーカーを末永くお楽しみください。

付属品の確認と金具等の取付

以下の付属品を確認して、ベース金具やスパイクを取り付けて下さい。



アンプ

ウィーン・アコースティクス社のスピーカーは、いろいろな種類のアンプにおいて卓越した音を再生します。

使用するアンプは、部屋の大きさや音量にもよりますが、出力は最低50w以上のアンプを推奨します。(specificationsを参照)

接続

スピーカー端子は、バナナプラグ、スペードプラグ接続に対応するように設計されています。

スピーカーケーブルと入力端子間の接触不良は、音質の劣化につながりますので、確実に締まっていることを確認してください。

ケーブルを接続する際は、必ずアンプの電源を切った状態で行い、接続の不良やケーブルのショートが無いのを確認してから、電源を入れてください。

ケーブルや端子の酸化は、音質の低下につながりますので、定期的なクリーニングをお勧めします。

スピーカーケーブル

より良い音楽再生の為に、高品質のスピーカーケーブルを使用することをお勧めします。

高品質のケーブルはシステムをファインチューニングする為の重要な要素で、ケーブル選択も、雑誌などを参考に慎重に行ってください。

ブレイクイン

全体の中で最も重要な時間は、ブレイクインプロセスの最初の 50 時間です。この間だけは、非常に大きな音量で再生しないことが重要です。この間は通常の音量にすることを心がけて下さい。

このプロセスを完了するための最も簡単な方法は、CD をリピート状態にして、数日間スピーカーを鳴らすことです。

エージング

スピーカーには可動部分が多くあり、これらの部分が滑らかに作動するようになるにはある程度の時間が必要です。最初の 50 時間の再生で大きく変わり、300 時間程度で最良の状態になるでしょう。

設置

部屋の中で、部屋の音響やスピーカーの配置は、音質に重要な影響を与えます。お使いのスピーカーのための最適な位置を見つけるために次のヒントを参考にしてください。

第1のポイントは、左右のスピーカーからリスニングポイントまでの距離を同じにすることです。

仮にスピーカーの間隔を3メートルにした場合は、リスニングポイントからスピーカーまでの距離は最低3メートル以上にして下さい。

第2のポイントは、トーンです。

THE MUSIC のようなツープース設計のスピーカーでは、単一のキャビネットのものより、多くの注意が必要です。

スピーカー下のキャビネットは、リスニングポイントから後方へ1～2m離れた(A)の位置に向くように調整します(図I)。

(A)とリスニングポイント間の約半分の所を(B)位置とします。上のキャビネットは、リスニングポイントから後方へ(B)の位置に向くように調整します(図II)。

※上のキャビネットの調整方法はp4「上のキャビネットの微調整」をご覧ください。

図 I

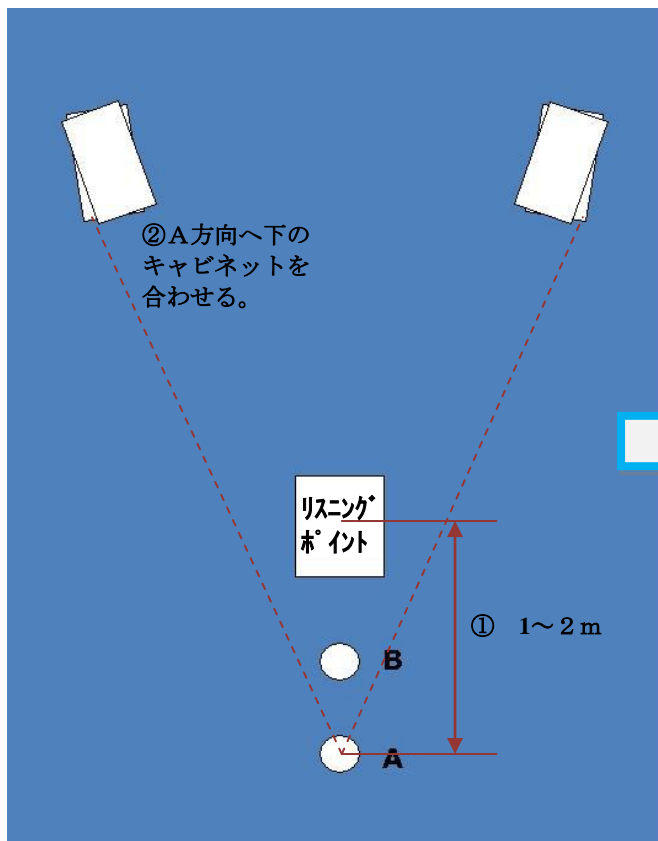
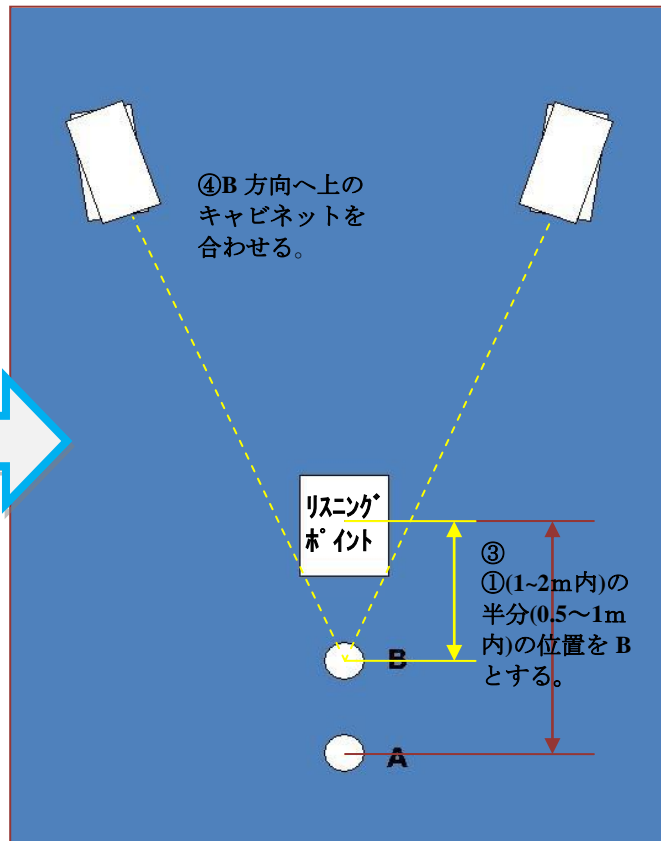


図 II



微調整

以下の調整を実行する前に、それまでのセッティングが全て行われていることを確認して下さい。

トーンについて、壁からの距離が重要です。

後ろの壁に近づけると、音質的に良い結果が得られることがありますが、低音や音の深さが減衰する場合があります。

理想的には後ろ側の壁から1メートル、両脇の壁から1メートルです。

しかしながら、スピーカードライバースの特性によりこの距離は変わります。

スピーカーが鳴っているとき、それは楽器のコントラバスのように低音が響きます。

その響きをナチュラルに鳴らせるようなポイントへ位置を調整します。

通常後ろ側の壁から1~2メートルの位置になるかと思います。

また、スピーカーを移動させる際は、上のキャビネットを持たず、下のキャビネットを持って動かして下さい。

低音のバランスが取れましたら、スピーカーが水平でぐらつきがなく安定していることを確認して下さい。

スピーカーを安定して設置することにより、低音のパフォーマンスも最大限に発揮されます。

上のキャビネットの微調整

(1) 左右方向

上のキャビネットは、リアパネルにあるネジを図のように動かすことによって左右の向きを調整できます(図Ⅲ)。

ネジを左にまわすと、ネジがゆるみます。

ネジを右にまわすと、ネジがしまり、ロックされます。

※上のキャビネットを無理に動かそうとすると、壊れる危険性があります。

上のキャビネットを動かすときは、必ずネジをゆるめた状態で行なってください。

※ネジの締めつけ過ぎにご注意ください。

図Ⅲ



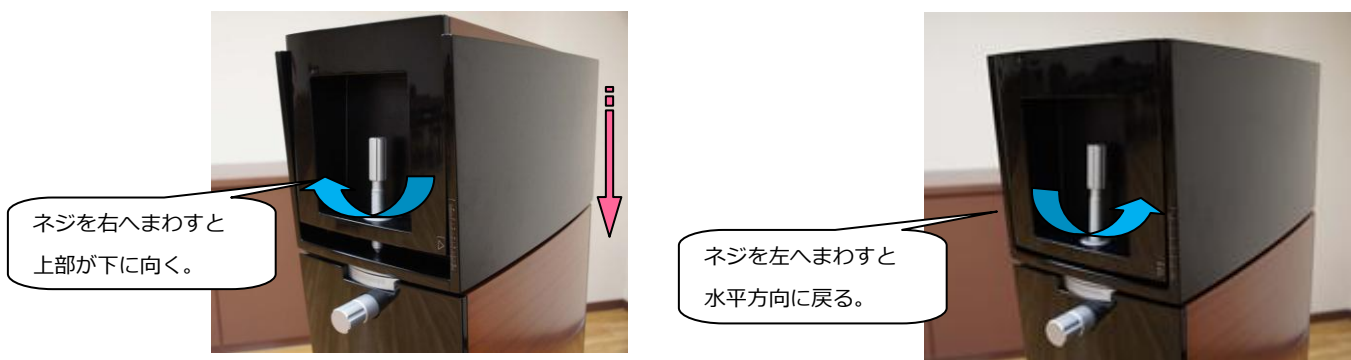
(2) 上下方向

上のキャビネットは、リアパネルにあるネジを図のように動かすことによって上下の向きを調整できます(図Ⅳ)。

ネジを右にまわすと、上部が下に向きます。

ネジを左にまわすと、上部が水平方向に戻ります。

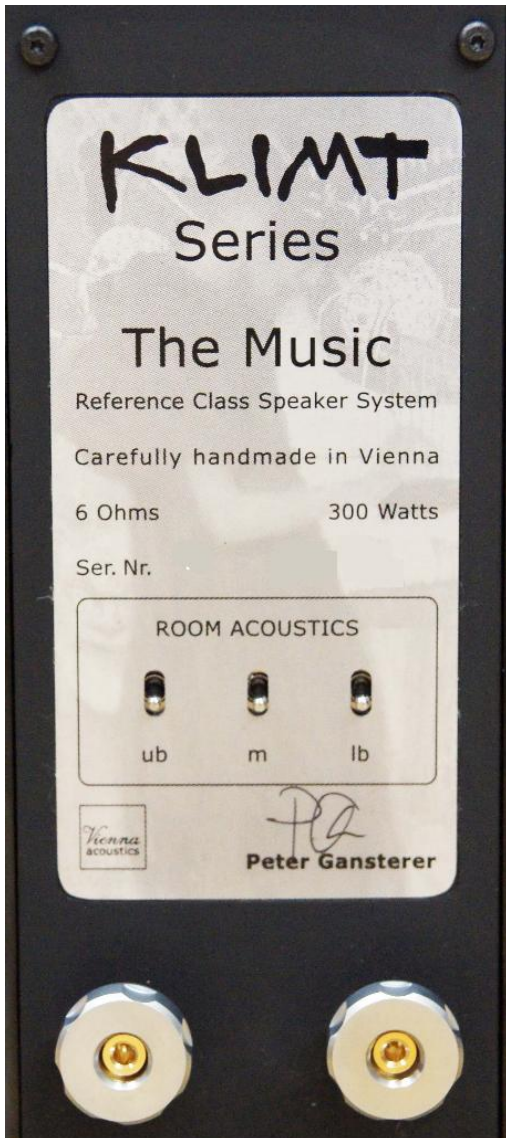
図Ⅳ



※手順通りに行なうと0～3(右側のメモリ)の高さに設定になると思われますが、最終的にはご自身のお好みで調整してください。

コントロール

セットアップの最後のステップは、スピーカーの背面のスピーカー接続端子の上にある 3 つの小さなスイッチの調整です。



これら三つのスイッチは、ラベルに ub、m、lb の表示があります。これらは、アッパーバス、ミッドレンジ、ローバスを表します。これらのスイッチの通常位置は下側でフラットになります。すべてのリスニングルームは、特定の音の特性を持っているので、物理的な配置の問題を解決できない可能性があります。これらのスイッチは、部屋の音響に対処するために特別に補正を少量加えるように設計されています。m-スイッチを上位置にすると、ミッドレンジの周波数帯域のゲインが少し上がります。これは減衰の多いリスニングルームで特に効果的です。

ub-スイッチを上位置にすると、アッパーバスの周波数帯域のゲインが少し上がります。これはスピーカーが背面の壁から遠く離れているリスニングルームで特に効果的です。

lb-スイッチを上位置にすると、ローバスの周波数帯域のゲインが少し上がります。大音量の低音に十分耐え切れるリスニングルームではより迫力のある低音を実現できます。

各スイッチの効果は大きいものではありませんが、リスニングルームを含めスピーカーシステム全体でセッティングを考慮するときに重要な意味を持ちます。

最終的にはリスニングルームの環境などを考慮し、ご自身の耳で適した調整を行ってください。

お手入れ

スピーカーキャビネットは、柔らかい布を水で濡らして固く絞ってから拭いて下さい。

ワックスなどは使用しないで下さい。

キャビネットはなめらかで堅い仕上げになっていますが、直射日光や高熱にさらされないように注意して下さい。

仕様

モデル名	THE MUSIC
形式	4way 6スピーカー
ユニット	23cm Eton 製スパイダーコーンウーファー×3
	18cm Eton 製フラットスパイダーコーンミッドウーファー
	2.5cm Eton 製ネオジウムシルクドームツイーター
	1cm ScanSpeak 製スーパーツイーター
周波数特性	22Hz-50kHz
クロスオーバー	120Hz,2.4kHz,15kHz(6dB/oct)
感度	91.0dB
インピーダンス	4Ω
推奨アンプ出力	50-500W
サイズ (W×H×D)mm	273×1295×630(スピーカーユニット含まず)
重量 (1台)	82kg

保証

本機の保証は株式会社ナスペックが行います。

修理が発生した場合、保証書を製品と同梱してお送り下さい。

※ 修理品についてのご質問・送り先は、下記 本社/サービスセンターにてお受け致しております。

詳しいお問い合わせは **Vienna acoustics** 日本輸入総代理店 株式会社 ナスペック

本社/サービスセンター 〒500-8386 岐阜県岐阜市藪田西 1-4-5 TEL 058-215-7510 FAX 058-268-7118

e-mail : info@naspecaudio.com URL <http://naspecaudio.com>

2013.09.19